

## 仙台市スポーツ施設トレーニング室管理運営要領

(平成 16 年 9 月 22 日市民局長決裁)

### (趣旨)

第 1 条 この要領は、仙台市スポーツ施設条例(昭和 59 年仙台市条例第 2 号。以下「条例」という。)、仙台市スポーツ施設条例施行規則(平成 15 年仙台市規則第 53 号)(以下「規則」という)及び仙台市スポーツ施設運営要領に定めるもののほか、仙台市体育館トレーニング室、仙台市若林体育館トレーニング室、仙台市青葉体育館トレーニング室、仙台市泉総合運動場泉体育館トレーニング室、仙台市根白石温水プールトレーニング室、仙台市中田温水プールトレーニング室及び仙台市新田東総合運動場宮城野体育館トレーニング室(以下、総称して「トレーニング室」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

### (安全確保)

第 2 条 指定管理者はトレーニング室利用者の安全を確保するため次の各号に掲げる事項を行うものとする。

- (1) トレーニング機器を使用しようとする者に対する事故防止のために必要な説明
  - (2) トレーニング室を使用しようとする者に対する体力・健康状態の把握の機会の提供
  - (3) トレーニングに必要な知識普及・情報提供
- 2 指定管理者は、前項に定める事項について、説明及び提供を行ったときは、その対象となる利用者に対し、説明及び提供を行った旨を明らかにする書類を交付するものとする。
- 3 指定管理者は、トレーニングに集中できる快適かつ安全な環境を提供するものとする。
- 4 指定管理者は、単独では安全にトレーニング機器を使用することが難しいと認めるときは、当該使用者に対し、安全確保のため必要な付添い人の配置を求めるものとする。

### (使用の制限)

第 3 条 条例第 3 条第 2 項第 3 号の規定により使用を許可しない場合は、次の各号に定める場合とする。

- (1) トレーニング室を営利を目的として使用する場合
- (2) 専用使用する場合で次に該当する行事又は事業以外の使用
  - ア 仙台市及びスポーツ振興課長が必要と認める団体のうちトレーニング機器の使用方法を熟知している団体が研究目的で専用使用する場合
  - イ 指定管理者が実施するトレーニング教室及び指導者講習会等の事業
  - ウ その他文化観光局長が特別に必要と求める場合

### (使用申込み期間の特例)

第 4 条 規則第 5 条第 1 項ただし書に定める市長が特に必要と認める場合は、トレーニング室を専用使用する場合とし、その期間は使用日の属する月の 6 月前の月の 2 日から使用日の属する月の 1 月前の月の 20 日までとする。

(入場の制限及び禁止)

第5条 次の各号の一に該当する者は、入場を制限し又は禁止する。

- (1) 伝染性の疾患を有すると認められる者
- (2) 酒気を帯びている者
- (3) 砂塵等飛散することによりトレーニング機器の故障につながる恐れがある日常着その他これに類する服装を着用する者
- (4) その他管理運営上支障があると認められる者

(行為の禁止)

第6条 次の各号に掲げる行為は、禁止する。

- (1) 小学生以下の者によるトレーニング機器の使用
- (2) 十分な知識及び経験に乏しい者が単独で行うフリーウェイト機器の使用
- (3) 循環器等の疾患を有し、医師からトレーニング機器使用が不適当と診断された者によるトレーニング機器の使用
- (4) トレーニング機器への巻き込み又は挟まり等による事故の発生恐れがある服装を着用する者のトレーニング機器の使用
- (5) その他管理運営上支障があると認められる行為

(夜間使用)

第7条 中学生が、条例別表第1の1に規定する夜間の使用時間帯にトレーニング室を使用するときは、親権者等の同意を得ているか確認のうえ、使用を認めるものとする。

附 則

この要領は、平成16年10月1日から実施する。

附 則 (平成18年3月24日改正)

この改正は、平成18年4月1日から実施する。

附 則 (平成19年5月18日改正)

この改正は、平成19年5月20日から実施する。

附 則 (平成22年3月25日改正)

この改正は、平成22年4月1日から実施する。

附 則 (平成28年3月25日改正)

この改正は、平成28年4月1日から実施する。